

デーリー東北

2022年(令和4年)3月29日(火曜日) (3)

八工大と田名部組(八戸)番町に設置

「ばんらぼ」プレオープン

八戸工業大(坂本祐智学長)と八戸市の建設業・田名部組(田名部智之代表)が産学連携で同市番町に設置した「番町サテライトキャンパス(通称・ばんらぼ)」が4月1日、オープンする。学生や市民の交流拠点、再開業が進む番町・八日町エリアのにぎわい創出に向けた活用が期待される。28日は現地でプレオープンイベントが行われた。

(金澤千優希)

学生、市民の交流拠点に

ばんらぼは、同社が所有する協栄八戸番町ビル1階2309平方メートルに開設。ユニティスペース、創作活動が可能なワーキングスペースのほか、中央にはチャングルジムのようなモニユメントを設置した。内装は

プレオープンイベントには坂本学長、田名部代表のほか、学校法人八戸工業大の柳谷利通理事長、熊谷雄一市長らが出席。坂本学長は「中心市街地の活性化、地域産業の振興、人材育成の拠点としてオープンすることをうれしく思う。新しい形で社会貢献を果たして

にぎわい創出へ活用期待



サテライトキャンパスの完成を祝い、テープカットを行う(左から)坂本祐智学長、柳谷利通理事長、熊谷雄一市長、田名部智之代表。28日、八戸市番町

いきたい」とあいさつ。熊谷市長は「今回を契機に産学官が連携し、中心街、八戸全体の活性化に努めていきたい」と述べた。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。